



## 久留米へ移住し、農業に挑戦

【就農4年目】 認定新規就農者 しおいり ゆういちろう 塩入雄一郎さん・はつみ 初実さん

### ○就農のきっかけ

農業に参入するまでは、転勤の多い民間企業に勤めていた塩入さん。起業したいとの思いから、様々な業種を検討した結果、専業農家を選択します。

その中で、収益の見込める「イチゴ農家」になることを決意されました。

久留米での就農の決め手は、イチゴの栽培に適した温暖な気候や筑後平野の肥沃な土壌があったからと話してくれました。

### ○農業は一人ではできない

就農にあたっては「全くの素人からの出発でした」と話す塩入さん。2年間、先輩イチゴ農家の元で栽培知識や技術の習得に励みました。

研修2年目に大きな壁にぶつかります。「1年目と同じように栽培したのに上手くいかなかった」ことです。農業は、自分一人ではできない。経験も非常に大事だと気づかされました。そんな時に心強かったのは小さな悩み事から相談できる地域の先輩農家だったと話してくれました。

現在もお世話になった先輩農家との交流を続け、アドバイスをもらいながら自分の経営に活かしています。

### ○今後の目標

夫婦でイチゴ農家をはじめて4年目。栽培知識や技術が向上し、生産量も少しずつ増えてきました。

「農業のやりがいは自分たちが頑張った分だけ結果が出ること。まずは現状での安定収入を目標に頑張っています」と笑顔で話してくれました。



経営面積 / 21 a  
主な生産作物 / イチゴ  
労働力構成 / 2名(夫婦)